**なくそう！コロナウイルスによる偏見と差別**

**～自分たちに何ができるかを考えました～**

コロナウイルスによる差別・偏見について考える授業を、全学年５月中旬に行いました。２・３年生は「泣いた園長先生」を題材に、コロナウイルスに誰もが感染する可能性のある今、「自分たちにできることは何だろう」と考えました。主に３年生の生徒の考えたことや感想を紹介します。

～あらすじ～

昨年の４月、ある保育園の保育士さんが新型コロナウイルスに感染しました。保育園はその日からしばらくの間休園になりました。朝一番に保育園に行った園長先生はあるものを見て思わず泣いてしまいました。保育園の門に、子どもの字で『がんばれ○○ほいくえん』と書かれた旗があったのです。



が

！

ん

ん

え

○

れ

○

ほ

い

く

ば

**【感染予防の大切さ】**

★感染対策をがんばろうと思った。

★コロナで色んな人が苦しんでいて、これ以上増やさないようにマスクを付けたり手洗いをたくさんしないといけない。

★感染防止を頑張ったらコロナがなくなるのも早くなるかもだから、頑張ろうと思った。

★自分や周りの人の心を守るためにも、一つ一つ自分ができる対策をしっかりしておこうと思った。

★ニュースとかで大阪で何人感染したとか言っていて、「自分はうつらないからいけるわ」じゃなくて、いつ感染するかわからない状況だから気を緩めずに、マスクをしっかりして自分でできることはやろうと思った。

**【コロナ差別について】**

★コロナ差別をなくしたい。

★コロナ感染者を差別せず、変なうわさもしない。

★悪いのはコロナだから、感染者の人に悪い印象をもってはいけない。

★病気は誰でもかかるものだから、それで差別しない。

★私の親は医療従事者でみんな有難いって言ってくれるけど、やっぱり裏で嫌がられているかもしれない恐怖が拭えない。

★ニュースでかかった人が差別されたりするのを見て、不安になる人がいるけど、こうやって温かい人もいるってことが報道されたら感染して申し訳なく思う人が減ると思った。

★コロナに感染すると仲間はずれにするなど、コロナ差別があるらしいけど、この話でやっぱりそれは違うと思った。

★自分や家族の命が大切なのはわかるからクレームみたいなことをする人たちを否定はできないけど、私は温かい対応をできる人間でありたい。

★差別をされたりいじめたりする人たちを一人でも少なくすることが大切だと思うし、それを知っておきながら放っておく人にはなりたくない。

**【自分や身近な人がもし感染したら…】**

★自分が感染したら、友だちから「学校で待っている」と言ってくれたらとても安心できる。学校に行った後も普段通り話してくれたら安心する。

★私はコロナになったら精神病むと思うから、回復した後に、友だちがまだ友だちでいてくれるだけで嬉しい。

載せきれなかった感想を、ピロティ―に掲示します。読んでくださいね。

★感染した人が帰って来やすいようにしてあげたい。

★いつなってもおかしくないから、なったときのことや、友だちがなったときの励まし方を考えられて良かった。

★友だちが感染したら、不安を安心に変えたい。

★身近な人が感染したら、自分が言われたら嬉しい言葉「治ったらまた遊ぼう」とか「学校で待ってるで」と励ます。

★もし自分の友だちが感染したら今まで通り接する。友だちに気を遣われるのも申し訳ないから。

★自分の友だちが感染したら離れたりするのではなく、自分がかかった時にしてほしいことを相手にしようと思った。

★自分なら何をされたら嬉しいか、悲しいかを考えるのが大切だと思った。相手がされて嬉しい行動を積極的にしたい。

★自分の身近な人がかかったら、みんなの意見を思い出して声をかけようと思った。

**【言葉のもつ力について】**

★自分の発言に気を付けていきたい。

★自分が言われて嫌なことは言わない。

★何気ない言葉が人を傷つけて、人に勇気をくれる。言葉には気を付ける。

★発言するときに一回言われる相手の気持ちになってみる。

★たった数文字で人の心を和ませることができると思って、言葉ってすごいと思った。コロナが流行ってから良い話をあまり聞かなかったから話を聞いて嬉しくなった。

★コロナにかかることも怖いけど、コロナにかかって人になんて思われるかも怖いなと思った。それはみんなも同じだと思うので、もし身近な人がなったらその人が安心できるような言葉をかけたい。

**【人と人との支え合いについて】**

★人はやさしさがあれば、よりがんばろうと思える。

★一人の力ではどうにもならないということがわかった。みんなの励ましが一人の安心感につながるし、励ましで損する人はいないと思う。保育士さんも最初は自分の症状よりも周りの目線の方が不安だったと思うし、貼り紙をしてくれて絶対うれしかったと思った。

★人に寄り添うことで人を救えるし、自分も救われるかもしれない。不安で出口の見えない今だからこそ周りにいる人を安心させたり、笑顔にできることが大切だと思った。

★感染した保育士さんもこの子どもたちのメッセージで元気になって保育園にきても安心すると思う。みんなが協力すればいい気持ちでコロナ期間を乗り越えられると思った。

★今はコロナの問題で楽しいことが減ったりしているけど、そんな中でもお互いに助け合うことがメンタル面でも大事。

★励ましたり安心させて気持ちの面で支えたりすることがとても大切だと思った。コロナになったら不安だし責任感・罪悪感もあるだろうからこそ、支えることが大切だと思う。

★コロナは嫌なことだけどそこからつながる人と人とのつながりはとてもステキだと思った。



感染した人を責めたり、心ない言葉がけをしたりする、差別偏見が全国でおき、問題になっています。こんな時期だから

こそ、辛い思いをしている人に寄り添い、支え合おうとする皆さんの思いが大切だと思いました。安心して通える

クラス、そして学校を作っていくのは、皆さん一人ひ

とりという意識を忘れずにいてくださいね。